

第4回 イエスの活動開始と弟子たちの招き

(1:14~20)

《アウトライン》

1. イエスのメッセージ (14-15 節)
2. 弟子たちの招き
 - (1) シモンとアンデレの招き (16-18 節)
 - (2) ヤコブとヨハネの招き (19-20 節)

- ### 《結論》
1. 十字架と神の国
 2. イエスの弟子=神の国の市民として生きる

《聖書研究メモ》

マルコが省略しているイエスの初期の活動の例 (ヨハネの福音書より)

- ・ 最初の弟子たちとの出会い (ヨハ 1:29-51)
- ・ カナ (ガリラヤの町) での奇跡 (ヨハ 2:1-11)
- ・ 過越の祭りの期間におけるエルサレムでの活動 (ヨハ 2:13-3:21)
- ・ ユダヤ地方でバプテスマを授ける (ヨハ 3:22-4:3)

1:15 「神の国」

→ 「国」はギリシャ語で「バシレイア」(王国、王の支配、王の権威など)。

直訳すると「神の王国」。英語訳では the kingdom of God が一般的 (KJV; ASV; NRSV; ESV)。

1:16-20 に出て来る 4 人の弟子たち

1. シモン : 後に「ペテロ」と呼ばれる (マコ 3:16; ヨハ 1:44)。弟子たちのリーダー格。
2. アンデレ : シモン=ペテロの弟。イエスの最初の弟子のひとり (ヨハ 1:37-40)。
3. ヨハネ : イエスの最初の弟子のひとり (ヨハ 1:37-40)。ヨハネの福音書の著者。
4. ヤコブ : ヨハネの兄。弟子たちの中では最初の殉教者となった (使 12:1-2)。